

## 二次評価に寄せられた質問等への回答について

## 【共通する質問】

○取組がどの程度効果があったのか数値化する等の評価方法の改善が必要ではないか。(実施課)  
・第5次プランの評価方法は、第4次プランの評価方法が複雑であったため、委員の皆様から意見を伺いし、審議会の審議を経て、評価基準や評価方法を変更しています。評価方法の改善については、審議会で委員の皆様からの意見として審議するものであるため、今後の課題として検討していきます。

## 【基本目標 1】

## 課題 1

○各部署及び地区センターが実施した男女共同参画セミナーで、性別に囚われず広く募集した結果、参加者の男女比がどうであったか。(人権推進課・社会教育課・地区センター)  
・参加者の男女比は、実施課で統計をとっているか分かりません。男女比のデータがある場合は、次年度から報告していただくよう、検討していきます。

## 【基本目標2】

## 課題 2

○女性リーダー養成講座を終了し、登録者名簿に登録した人材を早期に採用すべきではないか。(デジタル行政推進課・人権推進課)  
・女性リーダー養成講座の受講者に対して、修了者名簿に登録を積極的にお願ひしています。デジタル行政推進課の取組である「審議会等の運用の適正化及び女性の積極的な登用」では、各課から依頼があった際は、審議会等への推薦が可能な「女性リーダー養成講座の終了者名簿」を活用するよう全庁的な取組として行っています。

○「イクボス宣言」への言及が消えているのは、なぜでしょうか。(こども支援課)  
・入間市では、働く人が安心して子育てや介護ができる職場環境を整備し、誰もがイキイキと充実した人生を送れる社会を実現するため、平成 29 年 10 月 15 日(日)に市内 6 企業・3 団体が共同で「いるまイクボス共同宣言」を行いました。この事業は、その後平成 30 年、令和元年の2年間をフォローアップ期間として、令和元年 10 月をもって終了としています。その後は、各企業が・団体がそれぞれの取組を行っていくことになっています。市では、男性職員の育児休暇取得の促進や時間外勤務の縮減などの働き方改革に取り組んでいます。

## 課題 3

○女性の就職、在宅ワーク支援では、実施状況の記載からは詳細が不明である。  
(人権推進課・商工観光課)

・女性のための就職支援や在宅ワークの支援事業については、国や県の事業として実施しています。国では、ハローワーク主催による面接対策、履歴書の書き方、在宅ワークに必要なオンライン操作など様々なセミナーを企画、開催しています。また、県でも、自身の強みを生かしたセミナーや、なりたいワタシと題して応援プログラムを企画するなどオンラインで参加可能なセミナーを多数開催しています。担当課では、主に就労相談を中心として事業を行い、悩みや不安解消に向けた支援を継続的に実施しています。

### 【基本目標3】

#### 課題1

○マテリオの活動はどうなりましたか。(人権推進課)

・マテリオによる LGBTQ コミュニティーカフェは令和5年6月より休止中しています。性的マイノリティのための悩みごと相談は継続的に実施しています。また、マテリオとの連携も継続して図っています。

○令和4年度は入間市防災会議を3回開催していますが、令和5年度は開催していない理由があるのか。(危機管理課)

・入間市防災会議は、入間市防災条例に定められており、埼玉県警察官をはじめ、埼玉県西部消防組合、自主防災会など、40 人の会員で構成されています。防災会議の所掌事務は、主に入間市防災計画の作成やその実施の推進、地域に係る防災に関する重要事項を審議することとしています。

昨年度実施していない理由については、入間市地域防災計画の変更や法律又はこれに基づく政令の変更が発生しなかったことによるものです。

※令和4年度は入間市防災計画の改定により、審議する事項が多く回数が多くなっています。

#### 課題3

○こころと体の相談の充実の取組で、必要に応じて同行支援を行なっているとの記載があるが、実績を知りたい。(福祉総務課)

・福祉総務課の総合相談支援室では、生活困窮に該当する市民の自立に向けた福祉相談を行っています。こころとからだに関する悩みを抱えている相談者に寄り添い、解決に向けた取組として各関係機関や専門相談を紹介しています。相談内容から庁内の担当部署へ繋ぐ際は、相談者と同行するなどの支援を行っています。

### 【基本目標 4】

#### 課題2

○職員研修の参加人数が2年続けて40名程と変わらないにもかかわらず、評価を「進展」とした根拠はあるのか。(人事課)

・職員研修では、各課に参加を呼びかけ、毎年40名程度の参加人数で研修を行っています。昨年度の研修のテーマについて意見が寄せられ、今後の課題があることから、進展と評価しました。なお、新

規採用職員研修を実施する際は、男女共同参画をテーマとした研修を継続して組み入れ、男女共同参画意識を醸成するための機会づくりに励んでいます。

### 課題 3

○関係課へ報告書を送付することが各課の施策の取り組みに即反映されるか、報告した後に、人権推進課と意見交換が行われているのか(実施課・人権推進課)

・取組実施課における一次評価、審議会における二次評価を行い、評価結果や事業の見直し、改善点を踏まえたプランを推進することとしています。また、プランの評価及び指摘事項は報告書としてまとめ、取組実施課に報告し、事業の見直しなどPDCA サイクル機能を活用してプランの実現に取り組んでいます。